

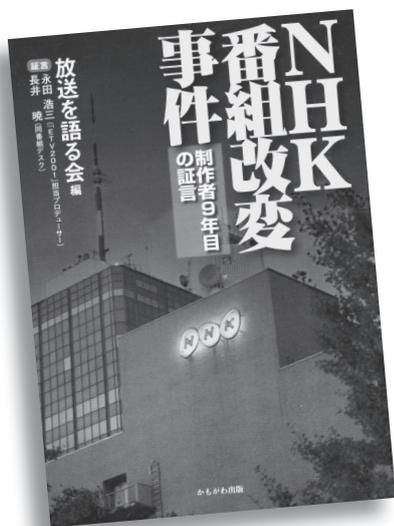
NHK問題を「考えるつどい」

3月19日(水)
6時開場、6時30分開演
さいたま市民会館うらわ705
参加費 500円(資料代として)



就任会見で旧日本軍の「従軍慰安婦」について、「戦争しているどこの国にもあった」などと発言したNHK会長の舛井勝人氏、東京都知事選の応援演説で、「南京大虐殺はなかった」などと述べたNHK経営委員で作家の百田尚樹氏、同じくNHK経営委員で拳銃自殺した右翼活動家を礼賛する追悼文を発表した埼玉大学名誉教授の長谷川三千子氏。NHKをめぐる大きな問題がたび重なって起きています。

NHKは、なぜこのようになってしまったのでしょうか。「従軍慰安婦」をあつかった番組改変問題で当時担当プロデューサーだった永田浩三さんにお話をお聞きします。



講師

元NHKプロデューサー
永田 浩三さん

1954年大阪市生まれ。東北大学教育学部教育心理学科卒。日本放送協会(NHK)入局後、ドキュメンタリー・教養・情報番組のディレクター・プロデューサーとして番組制作に従事。2006年、NHKアーカイブスエグゼクティブ・ディレクター。2009年に退職、現在は武蔵大学社会学部教授。

共催 草の根メディア9条の会、日本機関紙協会埼玉県本部、趣味・遊び・文化9条の会
連絡先 日本機関紙協会埼玉県本部(TEL 048-825-7535)